

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017 年 45 週 (11 月 2 週 11/6 ~ 11/12)

2017 年 10 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、世界エイズデー

定点医療機関コメント

マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎、RS ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱、インフルエンザ、手足口病等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(23)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、A 型肝炎(2)、デング熱(2)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)、急性脳炎(2)、後天性免疫不全症候群(2)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(2)、梅毒(10)、播種性クリプトコックス症(1)、破傷風(1)

2017 年 10 月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
11 月 13 日	衣浦東部	集団かぜの発生について (2017-2018 シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/ichiran.pdf

インフルエンザ

45 週の定点当たり報告数は 0.19、44 週 43 人→45 週 37 人です。2017/2018 シーズンに病原体定点等から寄せられた検体より A 型(AH1pdm09、AH3)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】2017/18 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出情報

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri17_18.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/index.html>

RS ウイルス感染症 (図 1)

45 週の定点当たり報告数は 0.91、44 週 189 人→45 週 165 人(うち 0 歳 79 人、1 歳 51 人)で、2 歳未満の報告数が全体の 78.8%を占めています。

【参考ページ】RS ウイルス感染症が流行しています!

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000016941.html>

RS ウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

咽頭結膜熱 (図 2)

45 週の定点当たり報告数は 0.57、44 週 79 人→45 週 104 人(1.32 倍)です。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

45 週の定点当たり報告数は 1.48、44 週 232 人→45 週 270 人(1.16 倍)です。

【参考ページ】A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

12 月 1 日は「世界エイズデー」です。(図 3)

愛知県では、「世界エイズデー」を含む 11 月 27 日(月)から 12 月 3 日(日)までの 1 週間を「愛知県エイズ予防強化週間」として、「エイズキャンペーン 2017」及び「夜間・休日の無料・匿名エイズ即日検査会」が実施されます。

愛知県の後天性免疫不全症候群の報告数は、2017 年は 11 月 15 日現在 59 件で、うち AIDS は 23 件(39.0%)です。

【参考ページ】平成 29 年度愛知県エイズ予防強化週間について(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000087467.html>

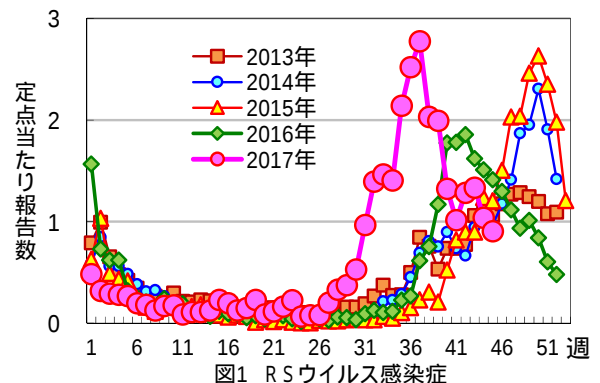


図1 RSウイルス感染症

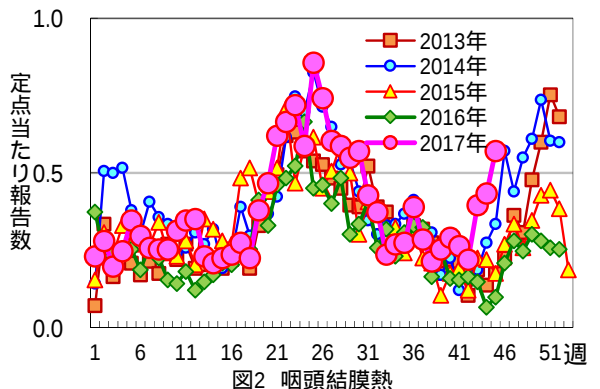
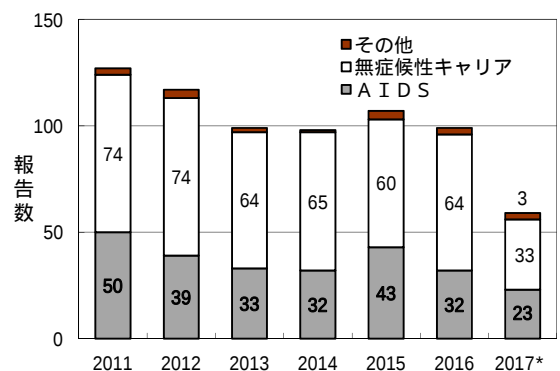


図2 咽頭結膜熱



2011 74 (127件) 2012 74 (117件) 2013 64 (99件) 2014 65 (98件) 2015 60 (107件) 2016 64 (99件) 2017* 3 (59件)

図3 後天性免疫不全症候群の年別・病型別報告数 (愛知県、診断週集計 *2017年は2017年11月15日現在)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 小学生 水痘 1名
【一宮市 後藤小児科医院】
- 8歳男 マイコプラズマ肺炎
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- 溶連菌感染症やや増加しています。
乳児のRSウイルス感染症 2名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- アデノ、手足口病が目立っています。
インフルエンザはありません。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 溶連菌 15件、アデノ 3件、手足口病 2件で、
溶連菌が増えました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 54歳男 マイコプラズマ肺炎
24歳女 カンピロバクター検出
61歳女 カンピロバクター検出
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- 水痘(5歳女) ワクチン未接種
溶連菌感染症目立ちました。
アデノウイルス感染症もみられます。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- RSウイルス 4名
マイコプラズマ 1名
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告 1件(A型 成人1名)
RSVは乳児に多いままです。
【春日井市 春日井市民病院】
- 目立つものはありません。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザA型 2名(家族内発生)
感染性胃腸炎 散発
溶連菌感染 散発
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 13歳男 マイコプラズマ
5歳男 サルモネラO4(+)
RSウイルス 3名(4か月女、1歳男、2歳女)
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- RSウイルス感染症 1名(2歳)
マイコプラズマ感染症 1名(12歳)
手足口病 5名
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

- StrepA(+) 8歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- 咽頭結膜熱が散発
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- マイコプラズマ感染症 10歳男
カンピロバクター腸炎 14歳男
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- 1歳男 2歳男 アデノ(+)
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 1歳男 病原性大腸菌O126
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- 溶連菌感染症、RSV感染症みられます。
【碧南市 永井小児クリニック】
- インフルエンザA型 1名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- RS 4名
【知立市 宮谷クリニック】

東三河地区

- 今年、手足口病に3回感染した子が時にいます。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA型 3名(12歳男、39歳男、
42歳男)
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- 病原性大腸菌O1 8歳男
【豊川市 ささき小児科】
- マイコプラズマ 7歳女 1人
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年11月15日現在

ー 三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki/jun161121.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2017年45週報告数			2017年総計(1～45週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	13	3	2	492	109	119
豊田市				58	14	12
豊橋市				67	11	32
岡崎市	1		1	40	15	12
一宮	1			94	31	34
瀬戸				87	12	34
半田	1	1		53	14	17
春日井	3		1	106	20	39
豊川	1	1		34	14	3
津島				76	11	21
西尾				27	7	5
江南				42	12	11
新城				6	2	3
知多	1			46	19	12
清須	1	1		30	12	7
衣浦東部	1	1		74	15	22
合計	23	7	4	1,332	318	383

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	58歳	女	10/28	10/31	11/9	O157、VT1(+) VT2(+)
2	津島	69歳	男	11/6	11/9	11/10	O157、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

● A型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	35歳	男	無	国内
2	瀬戸	53歳	男	無	国内

● デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	知多	23歳	男	デング熱	バングラデシュ
2	知多	45歳	男	デング熱	インド

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	93歳	男	肺炎型	国内

● アメーバ赤痢（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	62歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	82歳	男	院内感染、 医療器具関連感染	国内	無
2	瀬戸	72歳	女	以前からの保菌、 医療器具関連感染	国内	無
3	半田	68歳	男	以前からの保菌	国内	無
4	半田	71歳	男	手術部位感染	国内	無
● 急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域	
1	瀬戸	1歳	男	病原体不明	国内	
2	瀬戸	0歳	女	病原体不明	国内	
● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	75歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	衣浦東部	70歳	男	無症候性キャリア	不明	不明
● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	名古屋市	59歳	女	無	国内	
● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	豊田市	84歳	男	不明	国内	
2	岡崎市	76歳	男	不明	国内	
● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	56歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	22歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	43歳	女	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	29歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	豊橋市	35歳	女	無症候	性的接触	国内
7	一宮	40歳	男	無症候	不明	国内
8	瀬戸	40歳	男	早期顕症	性的接触	ブラジル
9	春日井	21歳	女	無症候	不明	国内
10	衣浦東部	43歳	男	早期顕症	性的接触	国内
● 播種性クリプトコックス症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染原因・感染経路	推定感染地域	
1	名古屋市	12歳	女	免疫不全	国内	
● 破傷風（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	豊橋市	94歳	男	無	国内	

2017年10月報

(2017年11月14日現在、診断週に基づく集計)

10月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2017年10月			2017年	2016年	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 ＜愛知県全体＞	総計 ＜愛知県全体＞	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	86 (27)	35 (10)	121 (37)	1,268 (356)	1,740 (444)	
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	9 (2)	
	腸管出血性大腸菌感染症	15 (5)	6 (1)	21 (6)	163 (37)	160 (53)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	12 (2)	
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	6	5	
	A型肝炎	2	0	2	8	5	
	エキノコックス症	0	0	0	1	0	
	オウム病	0	0	0	2	1	
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2	
	チクングニア熱	1	0	1	1	3	
	つつが虫病	0	0	0	0	3	
	デング熱	2	0	2	20	20	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1	
	ブルセラ症	0	0	0	1	0	
	マラリア	0	0	0	1	1	
	レジオネラ症	9	1	10	89	97	
	五類 (22)	アメーバ赤痢	1	0	1	48	68
ウイルス性肝炎		0	2	2	8	5	
内訳		B型	0	1	1	7	4
		その他	0	1	1	1	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症		16	4	20	95	76	
急性脳炎		4	1	5	36	39	
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	9	13	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	2	2	30	26	
後天性免疫不全症候群		3	2	5	57	99	
内訳		無症候性キャリア	1	2	3	32	64
		AIDS	2	0	2	22	32
		その他	0	0	0	3	3
ジアルジア症		0	0	0	1	1	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1	2	28	25	
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	2	6	
侵襲性肺炎球菌感染症		4	2	6	168	156	
水痘（入院例に限る。）		3	0	3	15	14	
梅毒		12	20	32	290	259	
内訳		無症候	1	8	9	87	69
		早期顕症	9	12	21	194	181
		晩期顕症	2	0	2	8	9
		先天梅毒	0	0	0	1	0
播種性クリプトコックス症		1	0	1	10	11	
破傷風		2	0	2	8	5	
風しん		2	0	2	3	20	
麻しん		0	0	0	1	5	
薬剤耐性 アシネトバクター感染症		1	0	1	1	2	
総 計		165	76	241	2,382	2,890	

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2017年10月			2017年 累計		2016年 総計	
			愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
						合計		合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	35	63	98	768	1,341	905	1,555
		女	43	29	72	573		650	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	7	8	15	191	457	231	633
		女	14	18	32	266		402	
	尖圭コンジローマ	男	5	14	19	177	265	207	313
		女	8	1	9	88		106	
	淋菌感染症	男	13	32	45	397	456	483	554
		女	7	1	8	59		71	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		69	28	97	853		957	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		16	4	20	136		102	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

2017年45週(2017年11月6日～2017年11月12日)

[illegible]

2017年45週(2017年11月6日～2017年11月12日)

愛知県衛生研究所

[illegible]

グラフ総覧

2017年45週(11月6日～11月12日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年45週までの定点当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

